

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年11月24日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	指宿市役所	代表者名	豊留 悦男
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0993-23-1003
担当者役職	主任	担当者氏名	前田 伯
住所	891-0497 鹿児島県指宿市十町2424番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	職員向け、市民向けと講演を行っていただいたが、参加者のニーズに応じ分かりやすい内容にいただいた。現在や未来の社会情勢を鑑みて、話をさせていただいたため、自分たちの生活に落とし込んで地域情報化という観点を自分事として考えることが出来たため良かった。
アドバイザーへの要望事項	今後もSNS等を通じて情報を発信するので、機会をみて連携を図らせていただきたいと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年11月20日	14時00分	20時45分	165	240
3-2. 派遣場所	会場名	指宿市役所及びふれあいプラザなのはな館	最寄駅	-	
	所在地	鹿児島県指宿市十町2424番地及び東方9300番地	最寄駅からの交通手段	徒歩・バス	
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員、一般	90人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	人口減少、少子高齢化、さらにはコロナによる地域経済の低迷など、地域社会をとりまく環境が、厳しさを増している中、これまでのやり方や考え方にとらわれず、行動していくことが求められている。しかしながら、地域社会にそのような危機感や解決方法ということが、具体的に考えることが浸透していない状況である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	上記の課題を解決するために、自治体職員や市民が地域にあるポテンシャルを最大に発揮するための視点やコロナ禍において自分たちの活動をどのように変化させていくことが必要かといった視点を学び、これまで活用されていなかった新たなツールやデジタル化、ICT、AI、シェアリングエコノミーなどを利用できるようになることを成果とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	支援を受けた内容としては、課題を解決していくという視点よりも企画創造していく視点を持って、地域をプロデュースしていくことが重要である。その中で、デジタル化やICT、AI、シェアリングエコノミーといった技術を導入して、進めていくべきである。また、役に立つものより意味のあるものを創造していくことがこれからの社会で重要である。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	アンケートの内容の中で出ていた意見として、「デジタル化のハードルが下がった。指宿のプロデュースができるように意識して、業務に取り組みたいと思った。」や「新しい発想のもとに、仕事に取り組みようと考えさせられた。」などの意見が多く上がっていたため、これまでの価値観を変革することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	さまざまな知見や今後必要となる知識、デジタル等の導入事例等を聞かせていただき、しっかりと全体的に理解し、価値観を変革することは出来たが、実際、何から取り組むということは次回へ持ち越しとなった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 これからの社会にイノベーションを起こすことの重要性やデジタル化、ICT、AI、シェアリングの考え方を理解することや実際に行動を起こすべきであるという意見が多かった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員一人ひとりが地域をプロデュースする意識を持ち、活動し、指宿にイノベーションを起こしていくこと。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年11月24日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	指宿市役所	代表者名	豊留 悦男
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0993-23-1003
担当者役職	主任	担当者氏名	前田 伯
住所	891-0497 鹿児島県指宿市十町2424番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	第2回の研修で地域全体にイノベーションを起こしていく必要性を感じたため、その内容を踏まえて、具体的にどのように取り組んでいくべきかを話し合う機会となり、非常に充実した研修となった。ワークショップ形式で行ったが、アドバイザーが全体の意見を引き出す手法を取っていただいたおかげで、それぞれが主体的に研修に参加することが出来た。
アドバイザーへの要望事項	今後もいかなる形でもいいため、連携を図らせていただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年11月21日	10時00分	12時10分		130
3-2. 派遣場所	会場名	ふれあいプラザなのはな館		最寄駅	-
	所在地	鹿児島県指宿市東方9300番地1		最寄駅からの交通手段	バス
	派遣形態	フォローアップ(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	27人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	第2回目の報告書の「改善又は解決されなかった内容、持ち越しとなった内容」にあるとおり、さまざまな知見や今後必要となる知識、デジタル等の導入事例等を聞き、しっかりと全体的に理解し、価値観を変革することは出来たが、実際、何から取り組むということが課題である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	第3回目の支援はワークショップ形式によるこれまでのフォローアップということなので、話し合いや意見交換を通じて、インプットした知識をアウトプットし、職員ひとりひとりが地域のポテンシャルを最大にいかすプロデューサーである意識を確立し、行動していくきっかけとしたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	地域のポテンシャルを生かすための企画構想を行う上で、正解を探そうとし過ぎると型にはまったり、前例踏襲的の考え方になったりしやすいため、妄想的な視点を取り入れることが重要であること。開疎化の時代の訪れにより、蜜をさけるということで地方都市としては、今後のチャンスが到来することが予想されるため、地域のプロデュースをしっかりと行っていくこと。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	ワークショップにより、今までのアイデアを発散し、可視化、スケジュールを確認することが出来た。それぞれが課題に対してアプローチするのではなく、理想の企画創造を行いそれに対する課題を解決する方法を実践することで、前向きなグループワークとなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	一部、今後のスケジュールを立てた。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	グループワークにより話し合われた内容について、今後実践していくことが求められるため、今後も活発な活動を行っていききたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 グループワークで出たアイデアをカタチにする。自分の担当業務に限らず、部署の垣根を越えて、全体利益を考えて行動する。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員一人ひとりが地域をプロデュースする意識を持ち、活動し、指宿にイノベーションを起こしていくこと。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

